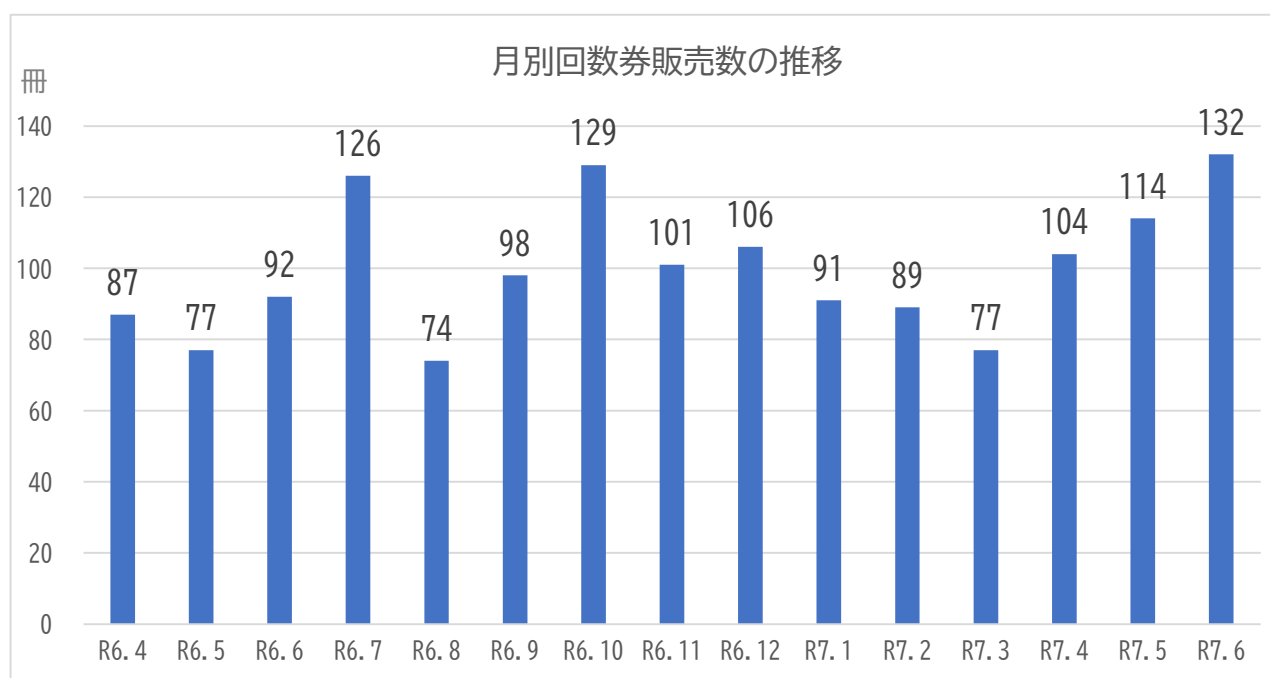


みずほバスの利用状況等について

1. 回数券の販売推移

令和6年度より、100円券11枚つづりの回数券を1,000円でバス車内にて販売を開始し、昨年度は1,147冊を販売しました。令和7年度は、昨年度を上回るペースで販売をしています。

回数券の販売場所に関する問合せがあるため、広報誌などによる周知を図る必要があると考えています。



2. 無料企画の実施状況について

みずほバスを移動手段のひとつとして認識してもらい、利用促進につなげることを目的に無料企画を実施しています。実施にあたっては、広報みずほ、市民メール、Instagram等により周知を図っています。

・ 4 月

期間：4/1～4/30

対象者：高校生（新学期のスタートに合わせて）

利用実績：1,542 人（令和7年度）



・ 5 月

期間：5/1～5/6

対象者：だれでも

利用実績：2,879 人（令和7年度）



・ 8 月

期間：8/17、8/18（みずほ汽車祭り・ほづみ夜市の開催に合わせて会場の混雑緩和）

対象者：だれでも

利用実績：2,624 人（令和6年度）



・ 9～10 月

期間：9/9～10/8（9月の敬老の日に合わせて）

対象者：75 歳以上

利用実績：1,651 人（令和6年度）



3. 年度別利用人員の推移

利用人員は、コロナ禍で一時的に落ち込んだものの、毎年利用人員は増加し続けています。

昨年度は、4月より各路線の最終便の減便、10月には安八温泉と穂積駅を結んでいた安八穂積線（名阪近鉄バス（株））の廃止に伴う牛牧穂積線の路線見直しを行い、利用人員は過去最高の132,786人となりました。特に牛牧穂積線は、前年度比35%増となりました。

